

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 - 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			・1日上限10名の利用とし、必要に応じて、パーテーション等を使用しながら個々にとって必要なスペースを確保できるように対応しています
	②	職員の配置数は適切であるか	5	2		・子どもの状況に応じ、安全かつ、丁寧に療育を行える職員数を配置しています
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1		
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	2	1	・毎月グループ会議や支援会議を行い、療育内容に反映させるようにしています ・今後は、新しい視点や意見を取り入れながら、よりよい支援、療育を提供できるよう努力していきたいと思ひます
	⑤	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	7			・当事業所利用者の保護者向け、評価票による評価(アンケートの配布)と公表を実施し意向を把握すると共に、改善に努めるようにしています
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所のホームページ等で公開しているか	6		1	・保護者の皆様に評価結果をお伝えし、今後の事業内容に活かしていくため結果を配布し、ホームページや事業所内にも掲示するようにしています
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	3	・現在は当事業所の保護者、職員を対象とした評価内容となっておりますが今後、必要に応じて第三者評価の導入も検討していきたいと思ひます
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		1	・年間を通し、関係機関の研修に参加したり、事業所内で研修会を開催しています 外部機関の研修に参加した際は、研修内容を職員間で共有し、職員のスキルアップ支援の質の向上に努めるようにしています
適切な 支援 の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析し個別支援計画を作成しているか	7			・新規利用の際や、個別支援計画作成時等、お子様やご家族のニーズ、課題を把握した上で、個別支援計画を作成するようにしています
	⑩	子どもの適切行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			・全ての利用者様に標準化されたアセスメントツールを使用しています
	⑪	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか	6	1		・ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に則した支援内容を個別支援計画に表記しています
	⑫	個別支援計画に沿った支援が行われているか	5	2		・職員間で共有共有しながら、今後もより一層、個別支援計画に沿った支援を心掛けていきます
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		・グループ会議や支援会議を定期的で開催し、多くの職員の意見が反映されるよう努めています
	⑭	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	7			・週単位で活動のテーマを決め、運動、製作、音楽等、各分野をバランスよく取り入れた活動を行っています
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	7			・必要に応じて、集団療育の他に個別療育も行っています
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか	6		1	・朝会時に当日の利用者や支援内容、役割分担等について確認しています
	⑰	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1		・支援終了後、必ずその日の支援の振り返りを行うとともに、朝会の際には前日の振り返りの内容を、全職員で共有するようにしています
⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		1	・毎回療育内容や、支援時の様子について記録を取っています 成長状況や課題を確認し、支援内容を検証しながら、改善を図るようにしています	

	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		1	・概ね6ヶ月に1度、見直しを行っていますが、個々の必要性に応じ、更に短い期間で個別支援計画を作成することもあります
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			・基本的に児童発達支援管理責任者が参加していますが、場合によっては担当が同席したり、担当が同席できない場合も丁寧に引継ぎを行い、会議の場で伝えるように心掛けています
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7			・保護者の方の意向を確認しながら、必要な際は関係機関と連携を図っています
	㉒	地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7			・保護者の方の意向を確認しながら、必要な際は関係機関と連携を図っています
	㉓	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7			・必要に応じて電話や、訪問、サービス担当者会議に出席し、情報共有を図るようにしています
	㉔	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		1	・就学に向けて支援情報提供書を作成したり、移行支援会議等に参加しながら就学に向けてサポートしています
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2		・必要に応じて連携を図り、助言をいただくようにしています
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、一緒に活動する機会があるか	2	4	1	・事業所に通ってきているお子様の特性(慣れない場所、慣れない人が苦手、いつもと違う日課が苦手等)に配慮した上で、愛慈こども園と交流できる機会を検討していきます
	㉗	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7			・定期的に自立支援協議会に参加しています
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			・連絡帳や送迎時等を通して、日頃からお子様の状況を分かりやすくお伝えするように心掛けています
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	2	2	3	・現在ペアレント・トレーニングの講座は実施しておりません
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			・契約時に説明をするようにしています
	㉛	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7			・児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」について保護者の方にも紙面を用いて分かりやすく説明するように心掛けています
	㉜	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1		・相談や申し入れに対しては、保護者様の思いに寄り添いながら、面談の機会を設ける等、対応するように心掛けています
	㉝	行事を通して、保護者の交流ができるよう支援されているか	3		4	・コロナ禍等もあり、行事は控えておりましたが、今後はアンケートを取り行事開催の意向を把握したうえで、実施を検討していきたいと思えます
	㉞	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			・相談や申し入れに対しては、できるだけ速やかに検討し、対応するように心掛けています
	㉟	定期的にすみれだよりやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7			・より保護者の皆様に分かりやすく、必要な情報を提供することで安心して当事業所を利用して頂けるよう努めていきたいと思えます

非常時等の対応	③⑥	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7			・今後も全職員が徹底し、個人情報の取扱いに配慮していきたいと思います
	③⑦	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			・言葉やサイン、絵カードや写真カード、手順カード、スケジュールボード等の視覚支援を行う等、伝達方法を工夫しています
	③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	2	・ふれあいカーニバル(9月)では、地域の皆様に参加していただいています
	③⑨	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	1		・毎月愛慈こども園と合同の避難訓練、不審者対応訓練を実施していますが 今後は更に、事業所独自の訓練も行っていきたいと思います また療育内容の中に、災害を想定した活動を取り入れ、活動の様子をすみれだより等を通し、保護者の皆様にお伝えしていきたいと思います
	④⑩	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		1	・毎月の訓練の他に、年に1回、法人全体の合同の避難訓練に参加しています
	④⑪	事前に予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	4	3		・児童在籍表等で、お子さんの健康状態、予防接種状況を確認していますが 今後は最新の情報を常に把握するように心掛けていきたいと思います
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			・特別食の方は、食器の色を変え、給食室と確認しながら、安全に食事を受け取るように対応しています
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			・その都度、すぐに共有し安全面に配慮するようにしています
	④⑭	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			・定期的に虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会を開催し、会議の内容は職員に周知し、毎年研修会も行っています
	④⑮	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	6		1	・現在該当の児童はいません ・身体拘束に関しては、「利用者の生命や身体を保護するため、緊急を要する場合に、切迫性、非代替性、一時性であることを条件に行う」ことを共通認識としています。今後やむを得ず身体拘束を行うことがある場合は、必ずご家族に説明し同意を得てから行い、個別支援計画にも明記するようにします